

山口大学医学部&附属病院から笑顔と情報を発信するコミュニケーションマガジン

# 山|大|医|学|部 病|院|だ|よ|り

Yamaguchi University  
Faculty of Medicine and Health Sciences

Yamaguchi University Hospital

News



進化する

医学部・附属病院

1

2019

VOL.241

# 先進の医療と癒しのアート



A棟エントランスホールのモザイクアート  
(写真は制作途中のもの)

## A棟にクリエイティブユニット「キギ」の渡邊良重さんがホスピタルアートを制作

2018年11月6日(火)、建設中のA棟(新病棟)1階エントランスホール壁面に、縦2・4メートル、横4・3メートルの巨大なモザイクアートを設置しました。A棟には、病院にアートを取り入れることにより心地よい空間を創り出す取り組み「ホスピタルアート」を導入しており、今回、制作を依頼しているのは、本学教育学部の卒業生で、現在は東京でクリエイティブユニットKIGI(キギ※1)のアーティストとして活躍中の渡邊良重(わたなべよしえ・周南市出身)さんです。今回設置したモザイクアートは、渡邊さんが、同じく周南市出身の詩人「まど・みちお」さんの詩「空気の」の世界観に共感し、そのインスピレーションを軸に原画を制作し、モザイクアーティストの永井友紀子さんがベネチアングラスや大理石のタイルを組み合わせて、半年以上かけて完成させたものです。渡邊さんは、「少しでも患者さんの不安な気持ちをやわらげる助けになればうれしいです」と想いを語りました。

A棟は2019年6月24日(月)開院予定で、渡邊さんの作品は、このモザイクアートを含め、小児科病棟を中心に約50点設置する予定です。



渡邊さん(左)と永井さん

## 6月24日A棟(新病棟)開院

新病棟は、災害時にも力を発揮します。免震装置や自家発電機を備え、災害発生時も継続して先進救急医療センターや手術室、ICUを稼働することが可能です。さらに、平時は講義や講演で使用する1階のオーデトリウム(大講義室)は、災害時には広大なトリリアージュス(※2)となります。

実際に、新病棟の外観が見えるようになり、我々職員も、もうすぐできるという実感が湧いてきています。県民の皆様にも様々な機能を備えた新病棟の完成に大きな期待を持っていただいていると思います。本院は、高度な機能を備えた山口県で唯一の特定機能病院です。本院でしかできない手術や検査、治療などが多くあります。山口県の医療における「最後の砦」として、今も未来も、安心・安全な質の高い医療を提供します。

最後になりましたが、今年が皆様にとつてすばらしい年になりますようにお祈り申し上げます。今年も山口大学医学部附属病院をよろしくお願ひ申し上げます。



モザイクアートの基となるベネチアングラス



A棟8階小児科病棟イメージ



山口大学医学部附属病院長  
杉野法広

挨拶

新年明けましておめでとございます。山口大学医学部附属病院では、現在、国立大学病院としては初となる2回目の病院再開発整備事業を「Your Health, Our Wish」あなたのために」をスローガンに進めています。そして、その目玉となるA棟(新病棟)が完成間近となりました。今年の6月24日に開院予定です。

新病棟の特徴は、高度急性期医療の充実です。その柱の一つが、1階の先進救急医療センターです。20床すべてに集中治療の機能を備え、救急外来にはCTや血管造影装置を設置します。屋上にはヘリポートを設置しますので、全県から重症な救急

患者さんをより迅速に受け入れることができるようになります。4階の手術室は、現在の12室から16室に増え、血管造影装置を完備したハイブリッド手術室やMRI手術室もでき、高度な手術を迅速に提供します。そして、3階の集中治療部(ICU)は、現状の12床から16床に増床し、手術後の患者さんを含め多くの重症患者さんを集中管理します。

高度急性期医療のもう一つの柱となるのが、6階の総合周産期母子医療センターです。新生児の病床数が8床から12床に増え、より多くの重症な妊婦さんや新生児の受け入れが可能となります。さらに来年度から県内で初となる新生児ドクターカーを本院に設置し運用します。「すべて引き受ける」「断らない」ことをモットーにしており、県民の皆さんに安心していただける周産期医療を提供します。6階から12階は入院患者さんのフロアです。見通しの良いオープンスペースのスタッフステーションなどが特徴で、「見守りハイケア病棟」と名付けています。

※1:「キギ」は、様々な企業やブランド、ショップなどのアーティストレクション、商品デザイン等、幅広いジャンルで活躍する、植原亮輔さんと渡邊良重さんによるクリエイティブユニットです。  
(2016年JAGDA賞他受賞多数)  
※2: トリアージュスペースとは、災害時に患者さんの重症度に基づいて治療の優先度を決める場所

ホスピタルアートで心地よい空間の創出

新病棟の詳細はこちらへ

山口大学 再開発

検索



再開発整備事業URL  
<http://h-seibi.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>

今年明けましておめでとございませう。平成最後の新年を迎え、次の時代の鼓動が聞こえ始めています。明治維新150年からさらに先へ、山口大学医学部・大学院医学系研究科も医療人の育成と医学・医療の研究に貢献すべく、未来に向かってさらに発展して参ります。

今年の医学部・医学系研究科のニュースとしては、まず、キャンパスの南側、真綿川沿いに新しい研究・講義棟が竣工し、新年度から使用開始することが挙げられます。1階から4階は医学科の学生の講義室、実習・実験室等で、約50年ぶりに一新拡充されます。1階には約200席の大講義室があり、市民公開講座などで市民のみならずにもご利用いただけます。5階には、産学連携を促進するための研究室が整備され、企業との共同研究などで研究の推進も図られます。あわせて、キャンパスの北側では附属病院の新病棟が完成します。



山口大学大学院医学系研究科長・医学部長

【挨拶】  
谷澤幸生

診療の場、そして、学生の実習の場としても充実します。

教育面においては、本学部では、先進的なカリキュラムによる医学教育を行っていますが、今年はその教育内容が国際標準にも合致していることを保証する評価の審査を10月末に控えています。日本医学教育評価機構が世界医学教育連盟の国際基準をふまえて審査するもので、認証されますと、山口大学の医学教育が国際標準である、との公的なお墨付きをいただくこととなります。国際的に通用する医学教育の質保証により、地域で、日本で、そして世界で活躍する医師・医学研究者を養成します。

今年の干支は己亥（つちのい）己（つち）のちのとは、植物の成長に例えると、草木が成長を終えて姿が整った状態を表し、亥（い）は、植物の生命が引き継がれて種の中にエネルギーがこもっている状態を指すことです。亥はまた、猪肉の栄養価が高く病気を予防することから、無病息災の象徴で、また、目標に向かって猛進していく、人を助ける「火の神の化身」とされているそうです。医学部も内なる充実をはかりつつ、目標に向かって着実に進んでいきたいと思えます。本年もご支援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

みなさまの健康とご多幸をお祈り申し上げます。



外観イメージ

進化する医学部・附属病院

約50年ぶり 医学科学生の講義室、実習室をリニューアル

# 医学部に新しい総合研究棟が完成



1F 大講義室イメージ



1F 玄関ホールイメージ

医学部では、教育及び研究施設、設備の更なる充実のため、約50年ぶりに医学科学生の講義室、実習室をリニューアルし、新しい総合研究棟が平成31年1月末に完成、4月の使用開始を予定しています。

新総合研究棟は、地上5階建てで、大講義室や実習室などの教育施設のほか、産学連携オープンラボや地域連携施設が集約されます。最先端の医療のイノベーション創出等、教育・研究のさらなる充実とともに、地域社会に貢献するグローバル医療人育成のための教育研究拠点となることが期待されます。

2つの総合研究棟の愛称が決定

このたび、医学部総合研究棟の愛称が決定しました。学内の教職員・学生に愛称の公募を行い、厳正な審査の結果、医学及び医療をイメージさせ、教育及び研究を志す場の愛称としてふさわしい名称として下記のとおり決定しました。



総合研究棟 医明館 (いめいかん)

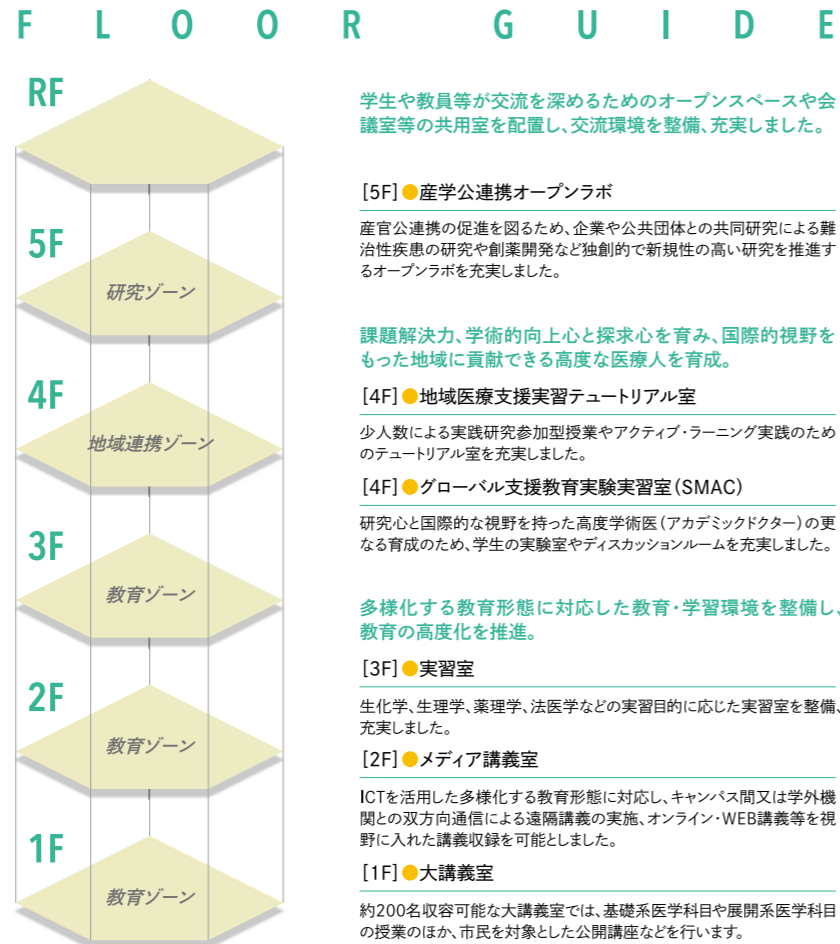


新総合研究棟 医修館 (いしゅうかん)



新総合研究棟の概要については、山口大学医学部ホームページをご覧ください。

<http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/public/special.html>



学生や教員等が交流を深めるためのオープンスペースや会議室等の共用室を配置し、交流環境を整備、充実しました。

[5F] ●産学公連携オープンラボ

産学公連携の促進を図るため、企業や公共団体との共同研究による難治性疾患の研究や創薬開発など独創的で新規性の高い研究を推進するオープンラボを充実しました。

課題解決力、学術的向上心と探求心を育み、国際的視野をもった地域に貢献できる高度な医療人を育成。

[4F] ●地域医療支援実習テュートリアル室

少人数による実践研究参加型授業やアクティブ・ラーニング実践のためのテュートリアル室を充実しました。

[4F] ●グローバル支援教育実験実習室 (SMAC)

研究心と国際的な視野を持った高度学術医 (アカデミックドクター) の更なる育成のため、学生の実験室やディスカッションルームを充実しました。

多様化する教育形態に対応した教育・学習環境を整備し、教育の高度化を推進。

[3F] ●実習室

生化学、生理学、薬理学、法医学などの実習目的に応じた実習室を整備、充実しました。

[2F] ●メディア講義室

ICTを活用した多様化する教育形態に対応し、キャンパス間又は学外機関との双方向通信による遠隔講義の実施、オンライン・WEB講義等を視野に入れた講義収録を可能としました。

[1F] ●大講義室

約200名収容可能な大講義室では、基礎系医学科目や展開系医学科目の授業のほか、市民を対象とした公開講座などを行います。



**放送中**

山口ケーブルビジョン「知っちょる?山大病院」

月曜日～日曜日 (毎月1日・16日更新) 毎日2回 放送

- 午前11時40分～11時45分
- 午後10時30分～10時35分

附属病院の最新治療を映像でご紹介

# 「知っちょる? 山大病院」



## 第1回 放射線科「最新のIVR、最新の画像診断」

平成30年11月5日から15日まで放送された第1回の番組を紹介します。  
放射線科・伊東克能教授が、体を切らずに治すインターベンショナル・ラジオロジー (IVR) と最新の画像診断について分かりやすく解説しました。

### 第1回放送ダイジェスト



体を切らずに治す  
「インターベンショナル・ラジオロジー」とは?

難しい言葉に聞こえるかもしれませんが、分かりやすく説明します。

### これは何でしょう?

正解は、カテーテル。IVR治療では、カテーテルという細い管を足の付け根の動脈から通して治療します。体の中で起こる出血を止めることができます。



### IVR治療が数多く行われる3つの理由とは?

IVR治療は進歩しており、本院でも年間300件以上実施されています。  
IVR治療が数多く行われる「3つの理由」とは何でしょうか?

続きは、ホームページをご覧ください。

### ただいま制作中!!



歯科口腔外科



産科婦人科



和やかな制作現場

### 放送ラインナップ

診療科	紹介する治療
放射線科	最新のIVR、最新の画像診断
泌尿器科	前立腺癌ロボット手術の最新治療
呼吸器・感染症内科	喘息治療の最前線
脳神経外科	遠隔医療における脳卒中急性期医療
第一外科	消化器・一般外科における腹腔鏡手術
産科婦人科	早期子宮体がんに対する手術療法
歯科口腔外科	当科の口唇口蓋裂一貫治療
第三内科	糖尿病の最先端医療
第二外科	生体肝移植について
麻酔科蘇生科	痛みの診断と治療
第一内科	最新の内視鏡治療
第二内科	心血管インターベンションの最新治療
脳神経内科	自己免疫性神経筋疾患の最新治療
整形外科	股関節疾患に対する治療戦略
耳鼻咽喉科	最新の人工聴覚器治療
小児科	小児食物アレルギーの治療と予防

山口大学医学部附属病院は、最新治療を分かりやすく紹介する映像「知っちょる?山大病院」を制作しました。現在、山口ケーブルビジョンで放送中です。

各診療科で、今どのような治療が行われているのか、専門の医師が分かりやすく解説しています。

本院ホームページで映像を公開していますので、ぜひご覧ください。

放送を見逃した方は、ホームページでもご覧になれます。

知っちょる?山大病院

検索



栄養治療部

## 季節のレシピ

Seasonal Recipe



Today's menu

## フルーツいも羊羹

新しい年がやってきました。“新春”とはいえ、まだまだ寒いこの時期、体調に気をつけてお過ごしください。さて、今回はさつまいもを使ったデザートを紹介합니다。さつまいもとフルーツみつ豆缶、この2つがあれば手軽でおいしい羊羹ができますよ。



栄養成分

エネルギー 約80kcal(1個分)

### さつまいもの効用

便秘改善に役立つ食物繊維が含まれるのはよく知られていますが、切り口からにじみ出る白い液「ヤラピン」も便を軟らかくする作用があり、食物繊維とともに便秘改善が期待できます。また、加熱しても約7割のビタミンCが残ると言われています。老化現象の原因となる過酸化脂質を抑える働きもビタミンEも含まれ、ナトリウム排泄を促すカリウムは、高血圧予防に有効とされています。さつまいもは9～11月に収穫しますが、貯蔵保存した1～3月頃のもののおいしいといわれています。

参考文献：食の医学館

◎監修：有富早苗・福田有子

材料 6個分

- さつまいも…………… 180g
- フルーツみつ豆缶… 1缶 (固形量200gのもの)

### 作り方

- ① さつまいもは皮をむき、火が早く通りやすいように小さめに切る。
- ② みつ豆缶を開け、寒天、缶汁はさつまいもと一緒に鍋へ入れ、果物は取り出して刻んでから鍋に戻す。豆は盛付に使うので別皿にとっておく。
- ③ ②を火にかけてさつまいもが軟らかくなるまで煮る。(途中水分が無くなり焦げ付きそうなら少量水を足しながら煮る)
- ④ 木べらでつぶしながら煮詰めていき、なめらかなあん状に練る。
- ⑤ 火を止め、粗熱をとってから型に流し、とっておいたみつ豆をのせ冷蔵庫で冷やし固める。
- ⑥ 冷えて固まったら、取り出して適当な大きさに切り、器に盛る。

缶詰の中の寒天を利用して固めています。甘みの少ないさつまいもでもおいしくできますよ。



## Information

お知らせ

### 標榜診療科名を「脳神経内科」へ変更しました

本院では、患者さんへ脳・神経の診療を行う診療科をわかりやすくするため、平成30年12月1日より、下記のとおり、「神経内科」の標榜診療科名を変更しました。

これまで、「神経内科」で担当した疾患は「脳神経内科」で診療しており、診療体制、内容について変更はありません。

変更：「神経内科」→「脳神経内科」

## Topics トピックス

山大医学部・病院の旬な話題を発信!

### 心肺蘇生法普及サークル「コード・オレンジ」が、出前授業を行いました

山口大学医学部学生的心肺蘇生法普及サークル「コード・オレンジ」が、県立宇部高校で1年生240人を対象に出前授業を行いました。

同サークルは、これまで医学祭や駅伝大会等で自動体外式除細動器(AED)による心肺蘇生法の普及活動を行ってきましたが、高校での出前授業は今回が初めてです。授業では、同校卒業生を含む学生12人が講師を務めました。救急車到着までの一次救急処置をスライドで紹介した後、グループに分かれて、胸骨圧迫やAEDの使い方などを指導しました。



山口大学病院、  
Facebook始めました。



皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております。

今後読んでみたいテーマ、興味のある記事などお気軽にお寄せください。

FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

企画発行 山口大学医学部広報委員会・山口大学医学部総務課総務係  
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号 TEL 0836-22-2007  
医学部 <http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/>  
附属病院 <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>